



↑ 側面から（青線：切断面）



↑ 黒く、太くした指針（青い円内）



↑ 拡大読書器の画面（白黒反転）

◇指導のねらい

- ・ 弱視の生徒にとって、電流計の細かい目盛りや指針を見ることは、拡大補助具を使っても難しいことである。そこで、一般的な電流計を使っての実験を可能にして理解を深めるため、以下の改良を加えた。
- ・ 実験用電流計を切断し、拡大読書器で使用可能な形状に改良した。
- ・ 指針が細く、色も目立たないため、軽い京紙を黒く塗り、針にはることで見やすくした。

◇基本の使い方

- ・ 電流計を拡大読書器のステージに置く。文字盤が水平なため、見やすい。
- ・ 適当な大きさに拡大し、白黒反転などで見やすく調節し、目盛りを読む。

◇指導の評価

- ・ 従来の電流計は文字盤が斜めになっているが、この器具は水平なため、ピントが合わせやすく、正確に目盛りを読むことができた。
- ・ 針を太くしたことで動く針も確認することができた。
- ・ 軽い紙を使用したため、数値（指針の動き）に影響することはなく、正確な数値を得ることができた。
- ・ 自ら数値を読み取って実験ができるため、興味関心をもって取り組むとともに、理解を深めることができた。